

2018年3月期 第3四半期決算 IR説明用資料



株式会社オートバックスセブン

2018年1月30日

注：当社は第3四半期において決算説明会を行っておりません。
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

2018年3月期第3四半期 連結損益計算書



(億円)

	2018年3月期 Q3累計			2017年3月期 Q3累計	
	実績	売上比	前年比	実績	売上比
連結売上高	1,646	100.0%	+2.4%	1,606	100.0%
売上総利益	522	31.7%	+1.6%	514	32.0%
販管費	448	27.2%	▲0.9%	452	28.2%
営業利益	73	4.5%	+20.0%	61	3.8%
営業外収支	10	0.6%	+11.3%	9	0.6%
経常利益	84	5.1%	+18.8%	71	4.4%
特別利益	2	0.2%	-	-	-
特別損失	7	0.5%	-	-	-
親会社株主帰属利益	52	3.2%	+13.9%	46	2.9%

表示単位未満切り捨て
対売上比・前年比は円単位で計算

2018年3月期第3四半期 連結決算のポイント



連結売上高

前年比 **+2.4%**

売上総利益

売上総利益率 前年度Q3
31.7% ← **32.0%**

販管費

前年比 **約4.1億円減少**

営業利益

前年度Q3
73.9億円 ← **61.5億円**

特別利益

2.9億円 投資有価証券売却益

特別損失

7.8億円 店舗譲渡に伴う関係会社整理損など

2018年3月期 第3四半期のポイント



- タイヤ値上げや寒波に伴うスタッドレスタイヤの需要拡大、ドライブレコーダーに対する関心の高まりなどによりカー用品需要が増加
- FC法人に対する卸売値の減額措置により店舗が活性化
- タイヤの好調や継続的な粗利改善の取り組みにより国内店舗子会社の収益が改善
- テレビCMなどの強化により販売費が増加するも、販管費全体では減少
- 車買取専門店、BtoBビジネスは事業立ち上げのコストが先行したことや、事業環境の逆風もあり苦戦

報告セグメント情報

(Q3の計画は非開示)



(億円)

		2018年3月期 Q3累計	2017年3月期 Q3累計	前年比	総括
国内オートバックス 事業	売上高	1,401.8	1,432.5	▲2.1%	卸売・小売ともにビジネスとしては好調。FC法人への株式譲渡などにより、売上高は減少。FC法人の仕入原価率低減を実施。TVCMなどの費用が増加も販管費全体では減少。
	売上総利益	442.5	450.0	▲1.7%	
	販管費	303.4	325.6	▲6.8%	
	営業利益	139.0	124.3	+11.8%	
海外事業	売上高	69.0	60.1	+14.8%	全体ではほぼ前年並みの営業利益。フランスは景気回復などに伴い、収益改善。シンガポールやタイは事業拡大に向けた経費が先行。
	売上総利益	35.0	30.5	+14.5%	
	販管費	39.5	35.1	+12.6%	
	営業利益	▲4.5	▲4.5	-	
車・ディーラー・ BtoB事業	売上高	233.0	171.9	+35.5%	ディーラー事業は(株)モトーレン栃木の株式取得と東京都練馬区の事業譲受けに伴い店舗数が増加し、順調に推移。一方、車買取、BtoB事業は先行的な経費増により利益減少
	売上総利益	43.6	32.5	+34.1%	
	販管費	54.0	36.1	+49.4%	
	営業利益	▲10.4	▲3.6	-	
その他	営業利益	0.5	0.3	+53.0%	
調整額	営業利益	▲50.7	▲54.9	-	

※表示単位未満切り捨て 前年比は円単位で算出

2018年3月期 对外発表数値



(億円)

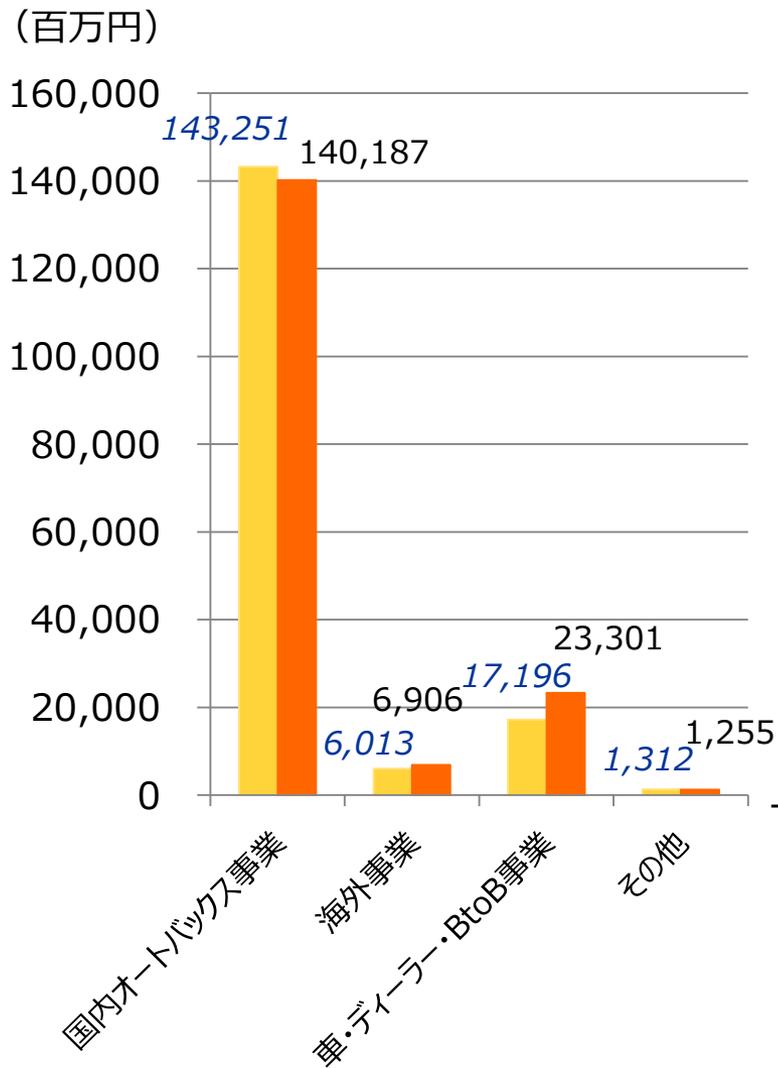
	Q1実績	Q2実績	Q3実績	Q4 (通期予想-Q3累計)	通期 (予想)
連結売上高	499	481	665	403	2,050
前年比	+5.1%	+1.8%	+1.0%	▲6.8%	+0.5%
売上総利益 (売上総利益率)	153 (30.7%)	163 (34.0%)	205 (30.9%)	144 (35.8%)	667 (32.5%)
前年比	+3.2%	+3.6%	▲1.1%	▲1.9%	+0.8%
販管費	149	148	150	148	597
前年比	+2.0%	▲0.9%	▲3.7%	▲1.5%	▲1.0%
営業利益	3	15	55	▲3	70
前年比	+96.9%	+86.3%	+6.9%	—	+20.1%
経常利益	6	18	59	▲9	75
親会社株主帰属純利益	3	10	39	▲0	52
既存店売上前年比	+5.6%	▲2.9%	+1.4%	※+1.1%	+0.9%

※期初予想値

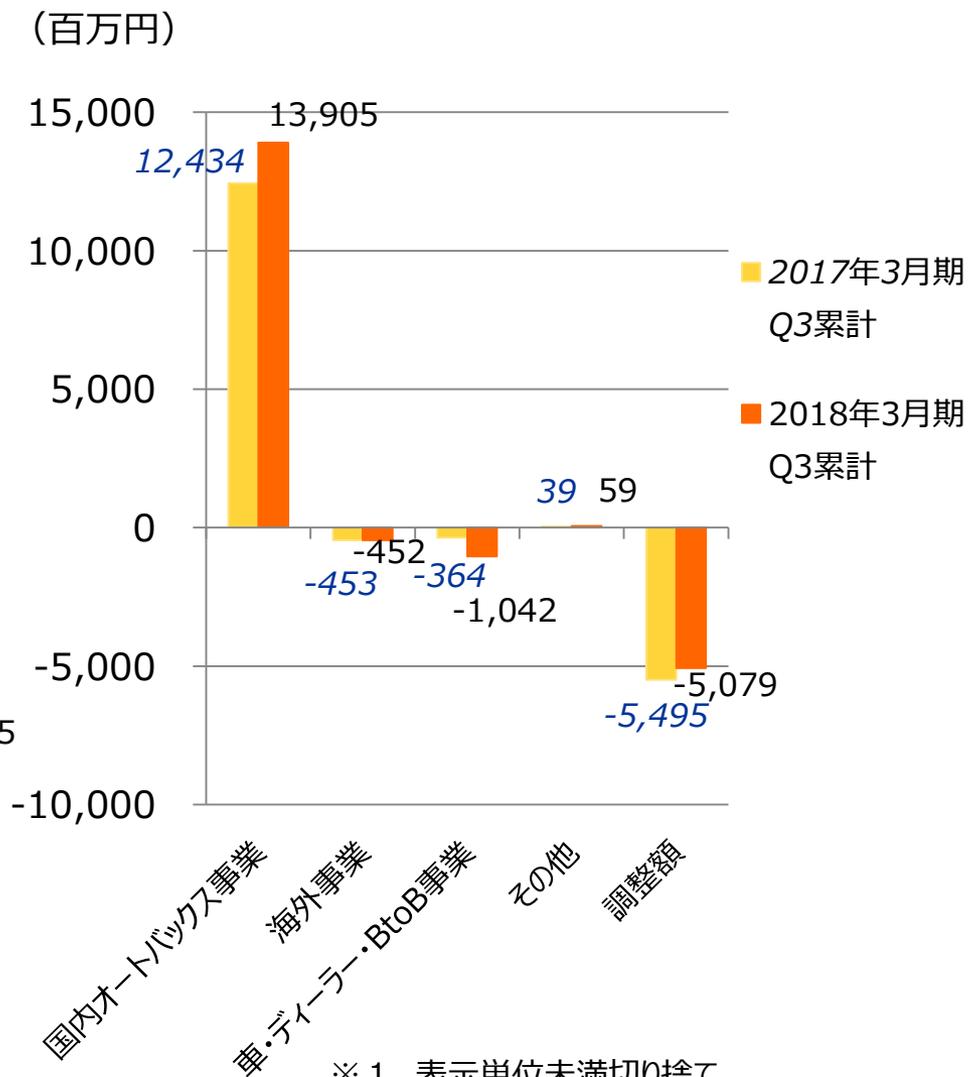
表示単位未満切り捨て
対売上比・対前年比は円単位で計算

報告セグメント別の売上と利益

売上高



セグメント利益



※ 1 表示単位未満切り捨て
 ※ 2 売上高はセグメント間取引を消去する前の数値 7

2018年3月期第3四半期 単体・国内店舗子会社



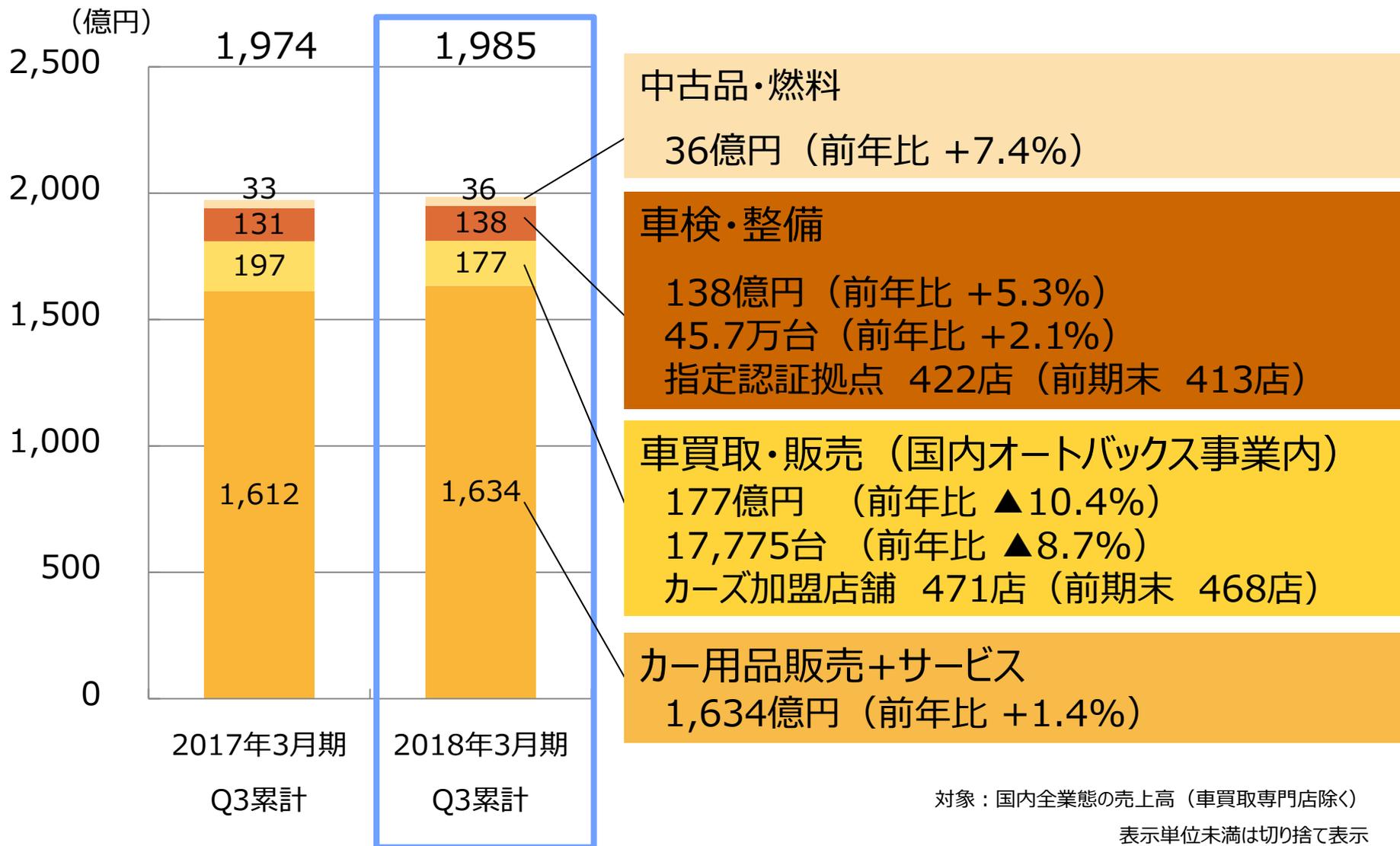
(百万円)

	単体		国内店舗子会社	
	実績	前年比	実績	前年比
売上高	125,033	+897	44,227	▲7,637
売上総利益 (売上比)	26,083 (20.9%)	+883 (+0.6pt)	18,793 (42.5%)	▲1,573 (+3.2pt)
販管費	19,963	+526	17,333	▲2,818
営業利益	6,119	+357	1,460	+1,245
解説	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗活性化に向け、卸売粗利率を低下させる施策を実施したものの、タイヤの好調や車買取などにより粗利率が改善 ・販管費はテレビCMなど広告宣伝の強化などにより増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・オートバックス北海道、オートバックス山形の株式譲渡により売上高、営業損失が減少 ・タイヤ売上の好調に加え、不動産在庫削減など粗利向上の取り組みを継続 	

国内オートバックス事業 全店舗売上高



国内店舗売上高 1,985億円 前年比 +0.6%



海外子会社の状況



連結子会社の状況

	フランス		タイ		シンガポール		中国		マレーシア	
第3四半期末 店舗数 (FC店含む)	11		8		3		0		5	
期間	18/3 Q3	17/3 Q3	18/3 Q3	17/3 Q3	18/3 Q3	17/3 Q3	18/3 Q3	17/3 Q3	18/3 Q3	17/3 Q3
売上高 (億円)	51.8	45.9	2.8	2.0	10.5	9.4	3.4	2.0	0.2	0.1
販管費 (億円)	27.5	24.8	1.7	1.4	4.6	3.6	1.2	0.8	0.4	0.4
営業利益 (億円)	▲0.0	▲0.6	▲0.9	▲0.8	0.6	0.9	0.0	0.0	▲0.3	▲0.4
状況	景気が回復傾向であることに加え、安全点検を切り口としたタイヤ販売、サービス売上が伸長し、利益改善		新店の小型店と既存大型店との連携が進み売上増加。またガソリンスタンドチェーンPTGと提携、ガソリンスタンドへの出店を準備。		新規ビジネスとしてカーシェアリングの車両に対するサービス事業、小売店向けカー用品の卸売事業などを強化。		カー用品販売のプラットフォーム運営と車載用芳香剤の製造・販売を行う企業に当社が出資。卸売事業拡大を図っている。		新規出店により売上が増加し、不採算店の閉店などにより損失が縮小。	

表示単位未満切り捨て

出退店の実績



国内出退店実績	17/3 末	2018年3月期							18/3 末
		Q3累計（実績）			17/12 末	Q4（計画）			
		新店	S/B R/L	退店		新店	S/B R/L	退店	
オートバックス	495	+5		▲2	498	+1		▲2	497
スーパーオートバックス	74				74				74
オートバックスセコハン市場	9				9				9
オートバックスエクスプレス	11				11				11
オートバックスカーズ	12	+2		▲1	13				13
国内計	601	+7		▲3	605	+1		▲2	604

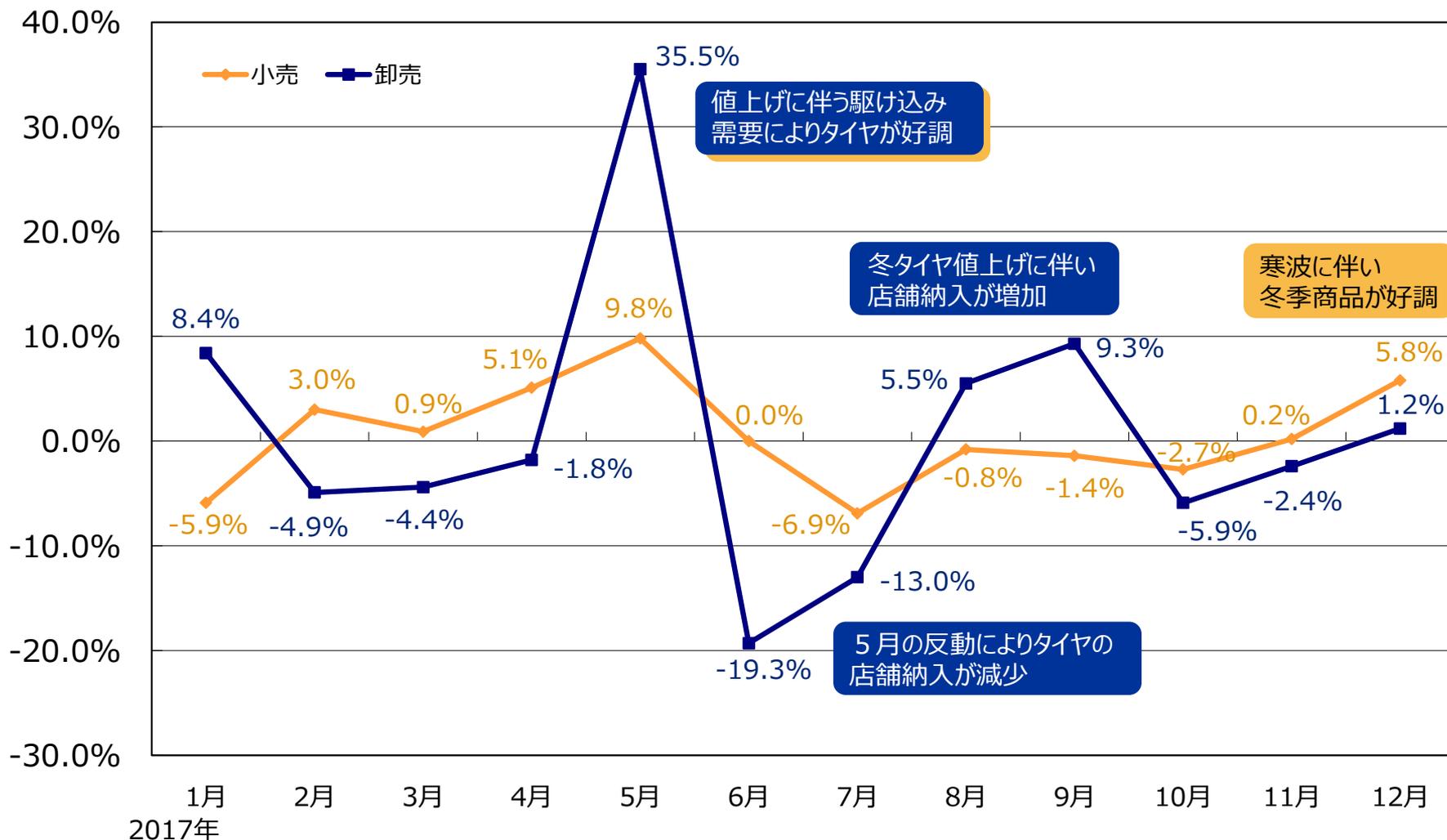
海外出退店実績	17/3 末	2018年3月期			18/3 末
		Q3累計 （実績）	17/12 末	Q4 （計画）	
フランス	11		11		11
タイ	8	+1/▲1	8	+5	13
シンガポール	2	+1	3		3
台湾	6		6		6
マレーシア	4	+2/▲1	5		5
インドネシア	5	▲1	4	+1	5
フィリピン	2	+1	3	+1	4
海外計	38	+5/▲3	40	+7	47

S/B : スクラップ & ビルト
R/L : リケーション（業態転換含む）

小売売上と卸売売上の月次トレンド



小売売上・卸売売上 前年比の推移



値上げに伴う駆け込み需要によりタイヤが好調

冬タイヤ値上げに伴い店舗納入が増加

寒波に伴い冬季商品が好調

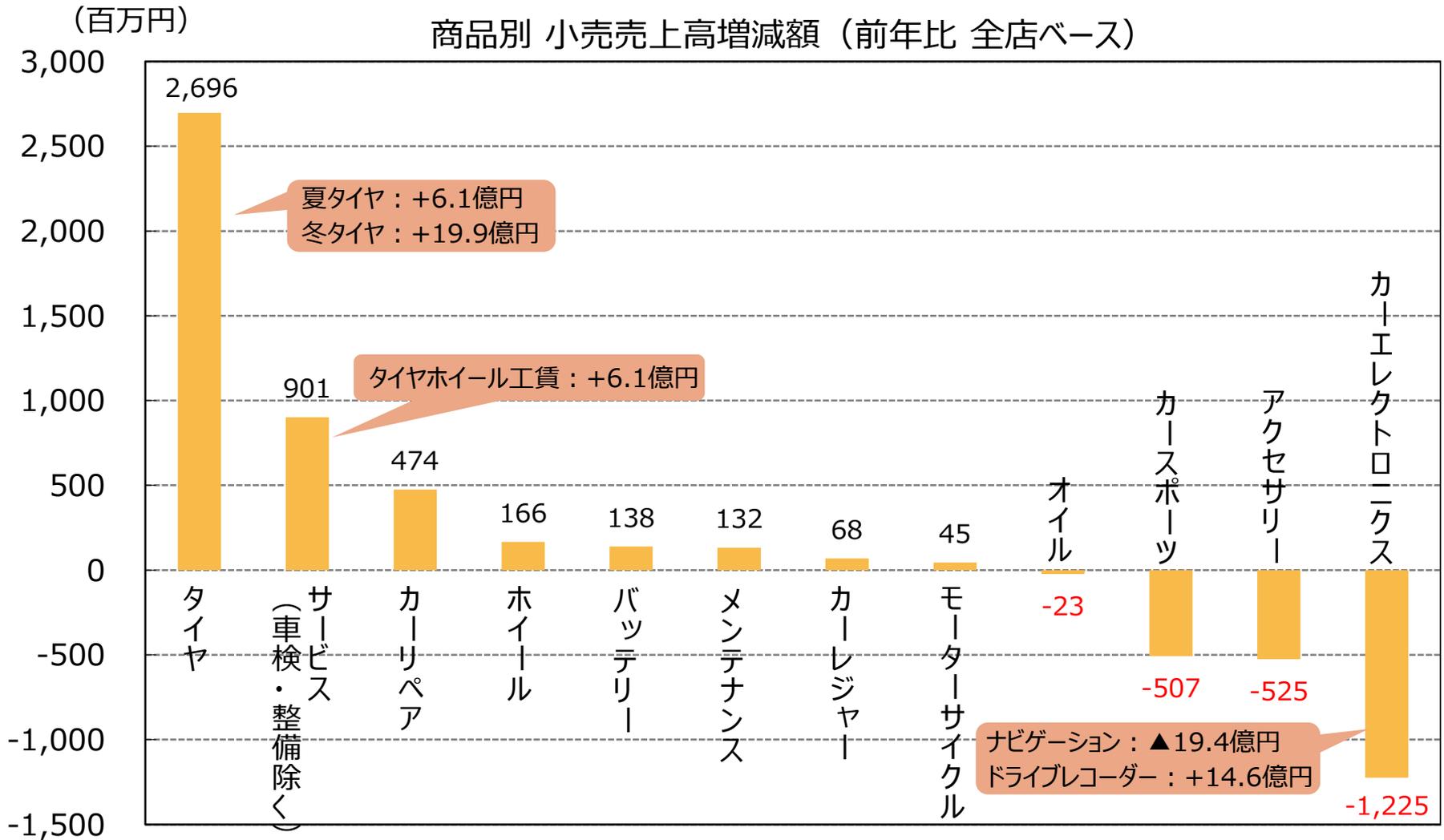
5月の反動によりタイヤの店舗納入が減少

対象：国内オートバックスチェーン全業態
 ※卸売は単体の国内オートバックス店舗向け卸売実績

2018年3月期Q3累計 商品別 カー用品売上増減額



既存店売上前年比 +1.2% 客数前年比 ▲1.4%



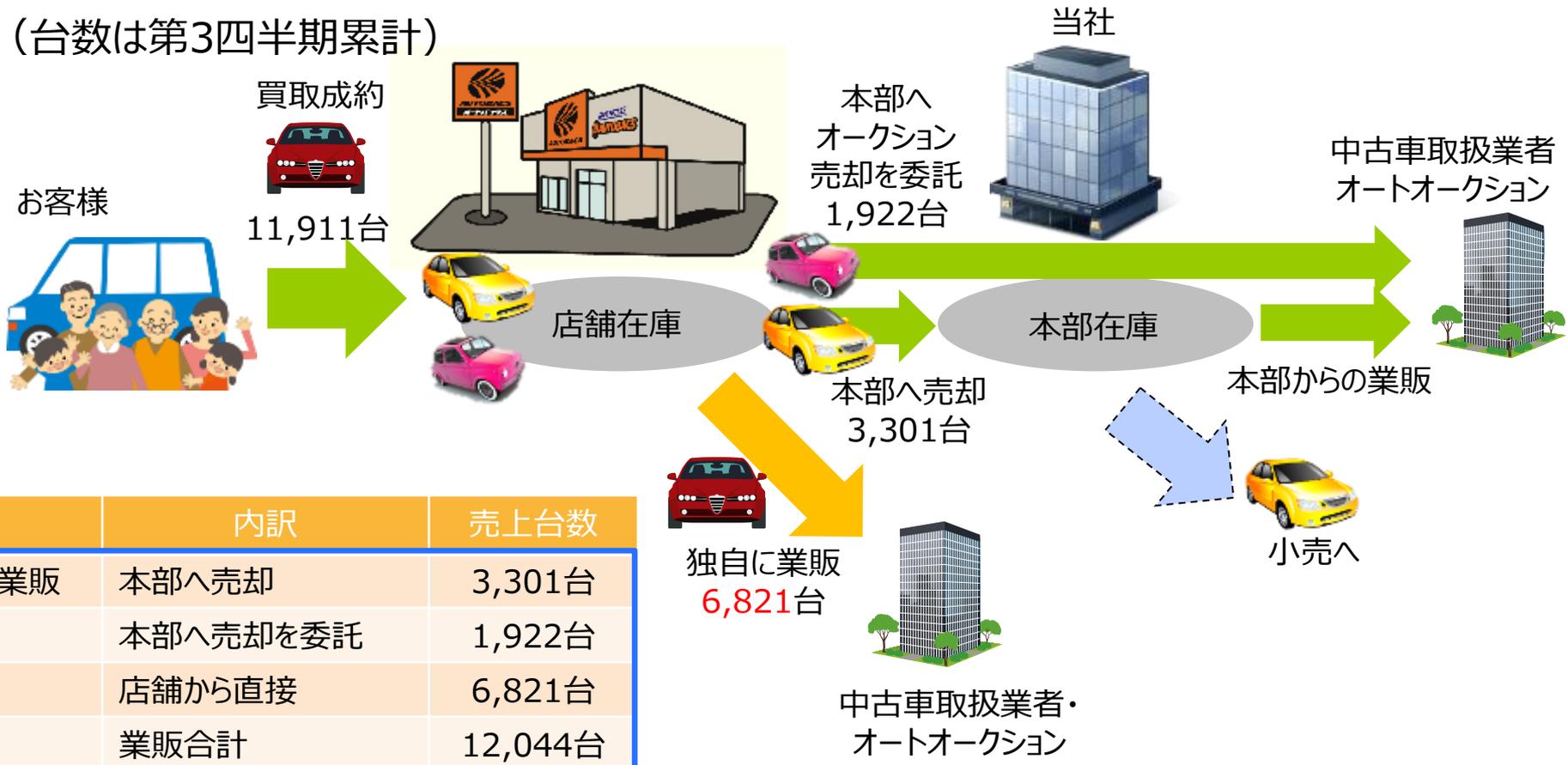
対象：国内オートバックスチェーン全業態

車買取・販売のフロー その1



買取・業販の商流

(台数は第3四半期累計)



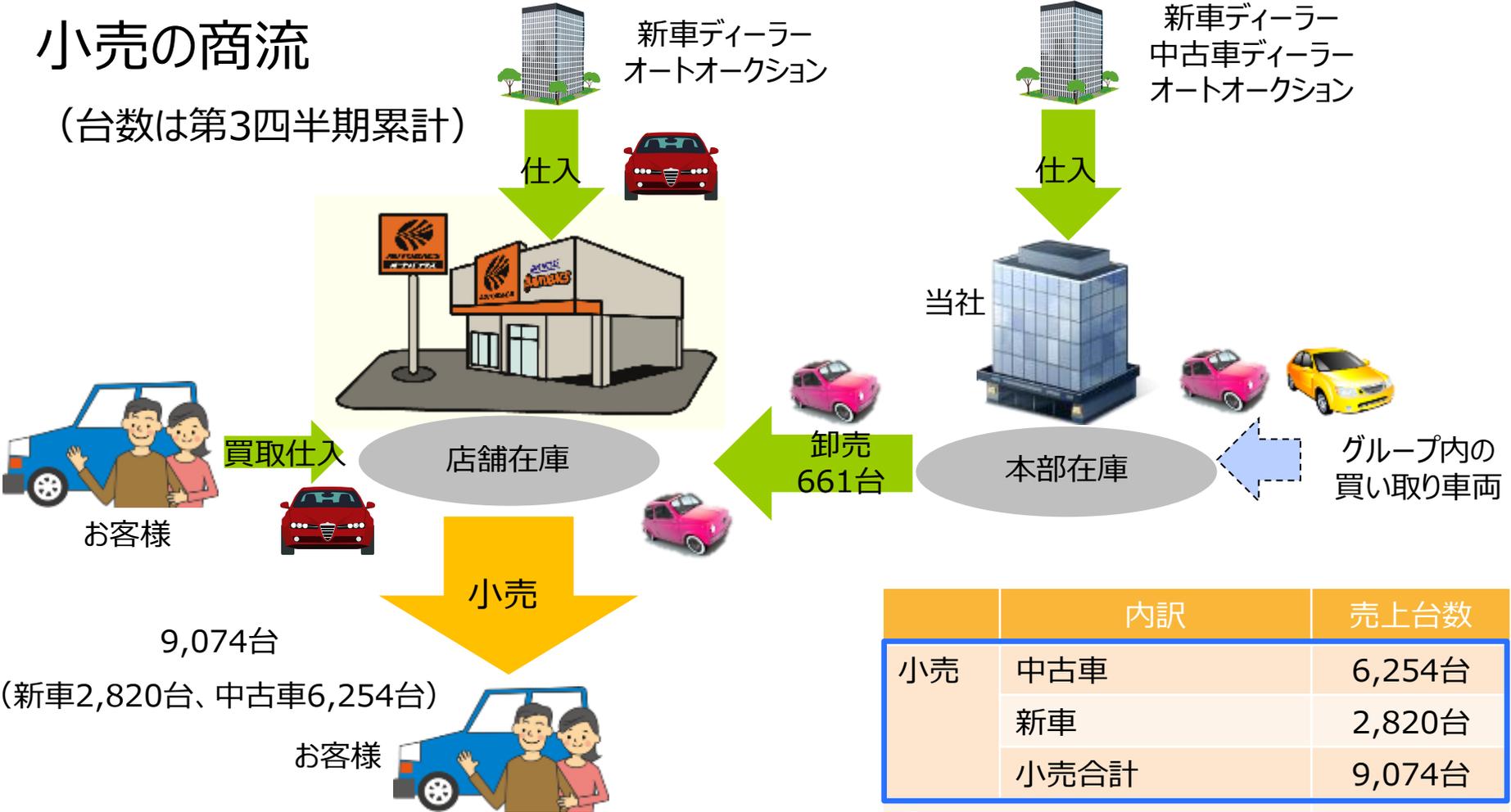
	内訳	売上台数
業販	本部へ売却	3,301台
	本部へ売却を委託	1,922台
	店舗から直接	6,821台
	業販合計	12,044台
小売		9,074台
合計		21,118台

※買取専門店を含む全ての店舗における台数

車買取・販売のフロー その2

小売の商流

(台数は第3四半期累計)



	内訳	売上台数
小売	中古車	6,254台
	新車	2,820台
	小売合計	9,074台
業販		12,044台
合計		21,118台

※買取専門店を含む全ての店舗における台数

国内新規出店

10月から12月までの新規出店実績



	店舗名	都道府県	運営法人	オープン日
1	オートバックス羽咋店	石川県	F C	2017年10月6日
2	オートバックスカーズ 福岡空港店	福岡県	直営	2017年10月17日
3	オートバックス Miniイオンモール甲府昭和	山梨県	直営	2017年11月23日
4	オートバックス Miniイオン宇品	広島県	直営	2017年12月13日



オートバックス羽咋店



オートバックスカーズ
福岡空港店



オートバックスMini
イオンモール甲府昭和



オートバックスMini
イオン宇品

東北エリア店舗子会社の店舗譲渡

- ・岩手エリア2店舗をFC加盟法人へ譲渡
(2018年2月17日付)
- ・宮城エリア11店舗、秋田エリア4店舗をFC加盟法人へ譲渡
(2018年3月1日付)

2018年3月末時点（予定）：国内店舗子会社 16社/108店舗

車・ディーラー・BtoB事業

東京都練馬区にて新たな輸入車ディーラーの運営を開始
(2017年11月)

BMW・MINI正規ディーラーは合計11拠点に



Nerima BMW 新車ショールーム



BMW Premium Selection 練馬



MINI 練馬

JACK & MARIE リアル店舗1号店



店舗名：JACK & MARIE 横浜バイクオーター

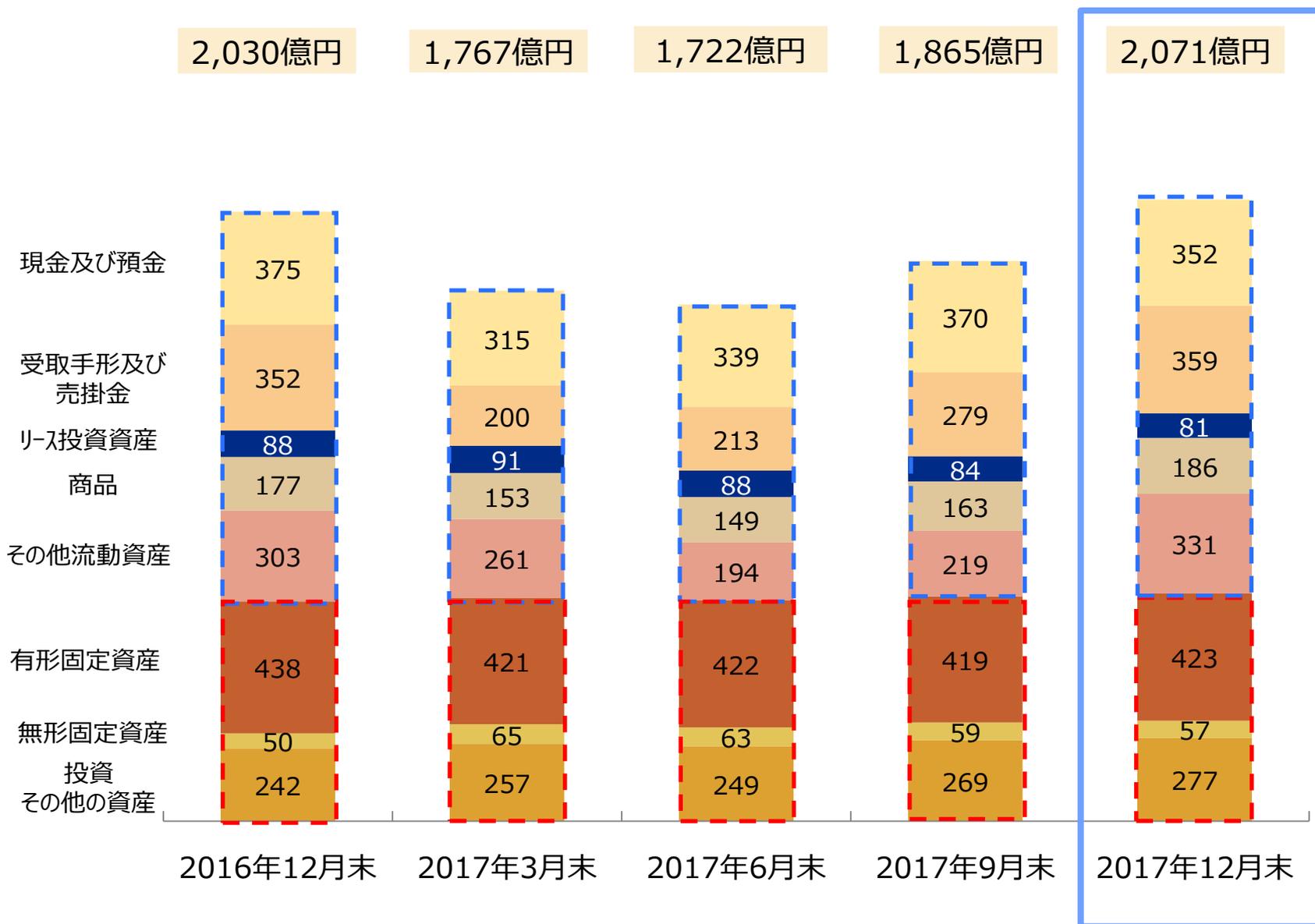
オープン予定日：2018年3月16日（金）

売場面積：約210㎡（約63坪）

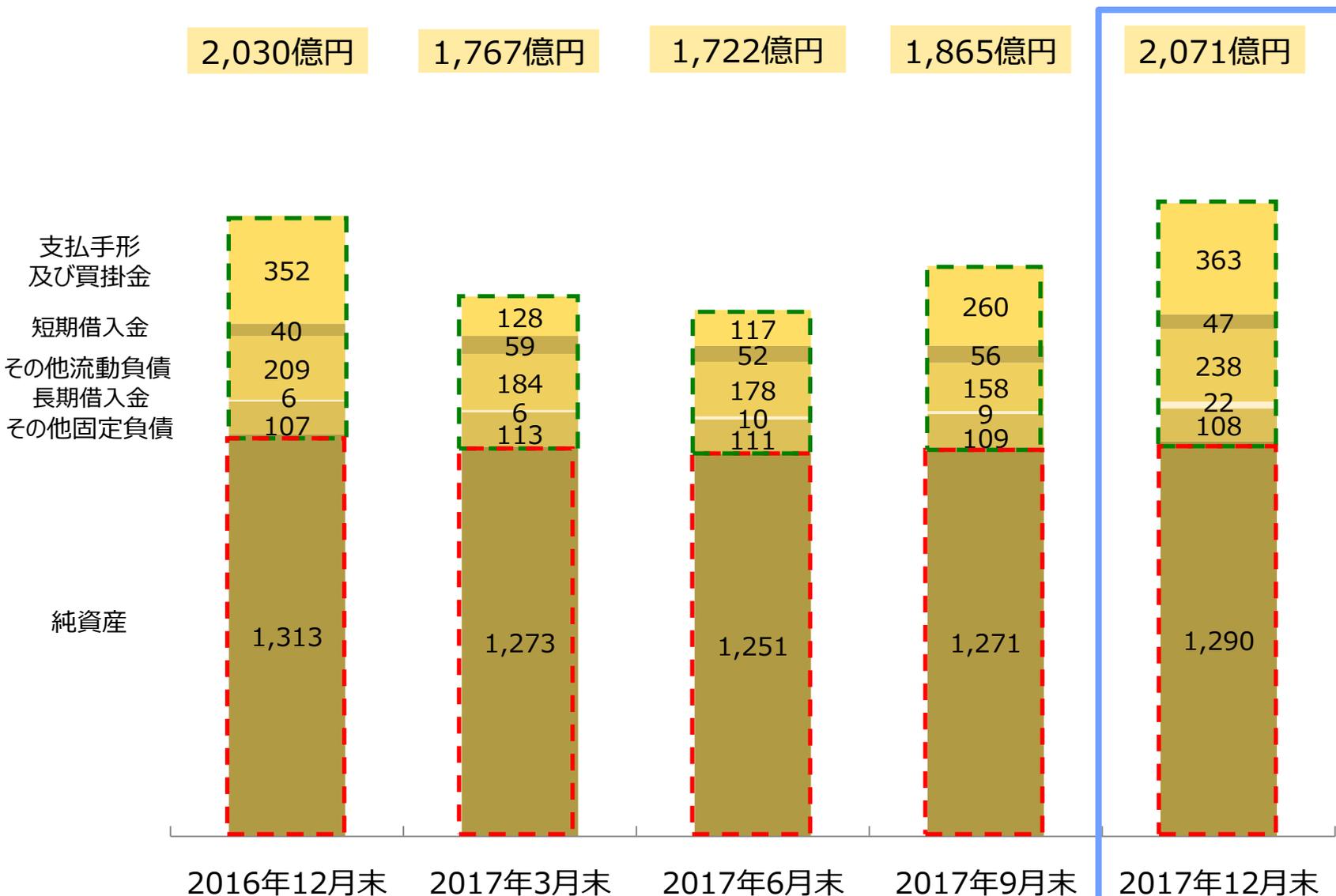
商品アイテム数：約2,000

来期以降も、JACK & MARIEリアル店舗の出店を計画

連結貸借対照表 資産の部



連結貸借対照表 負債・純資産の部

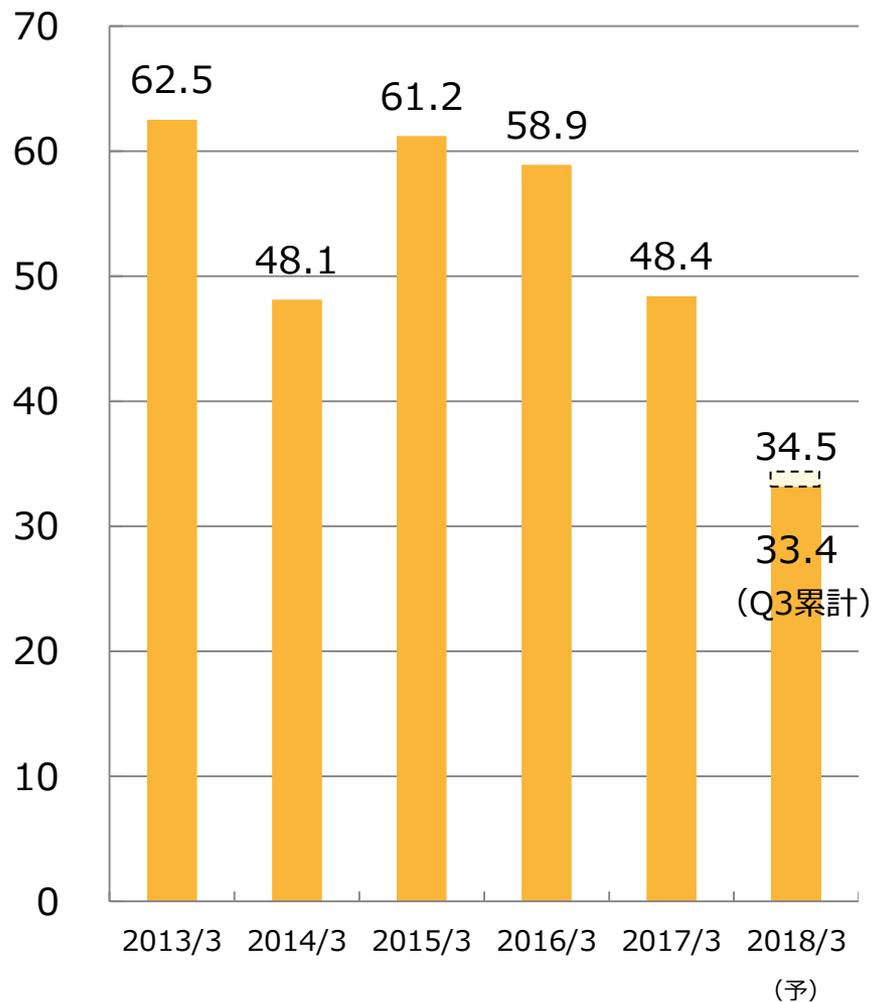


設備投資および減価償却費



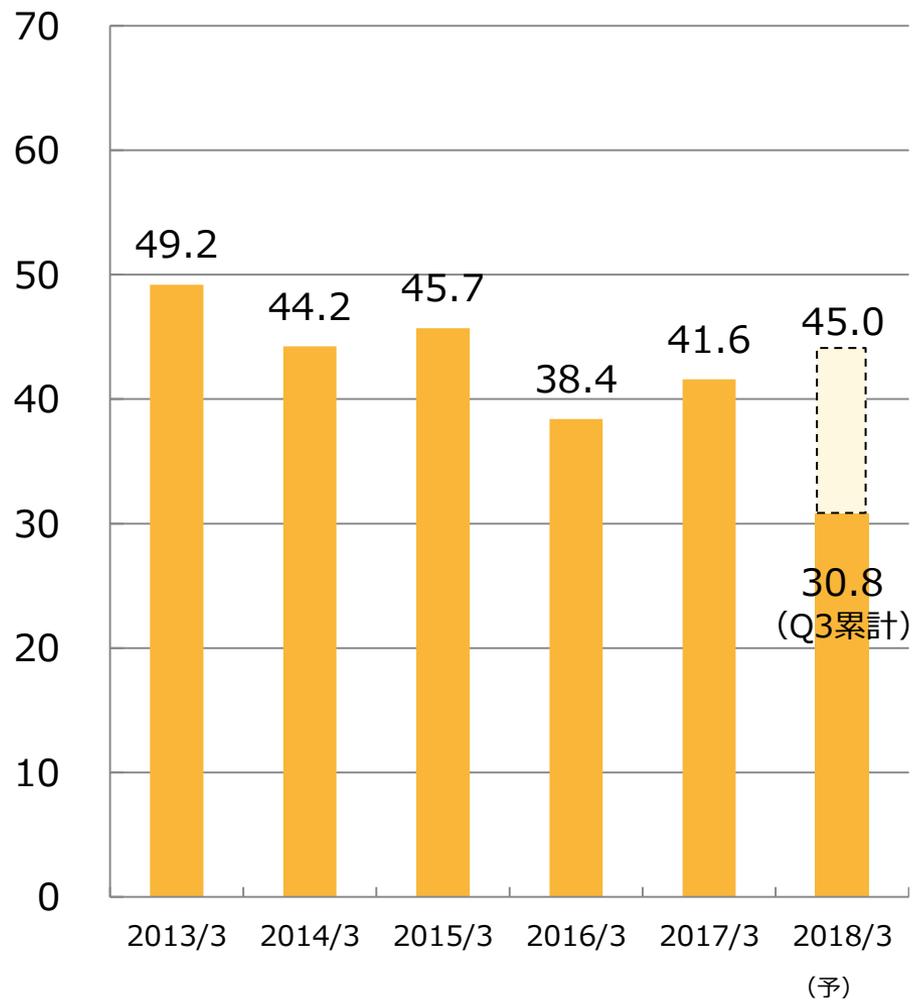
設備投資

(億円)

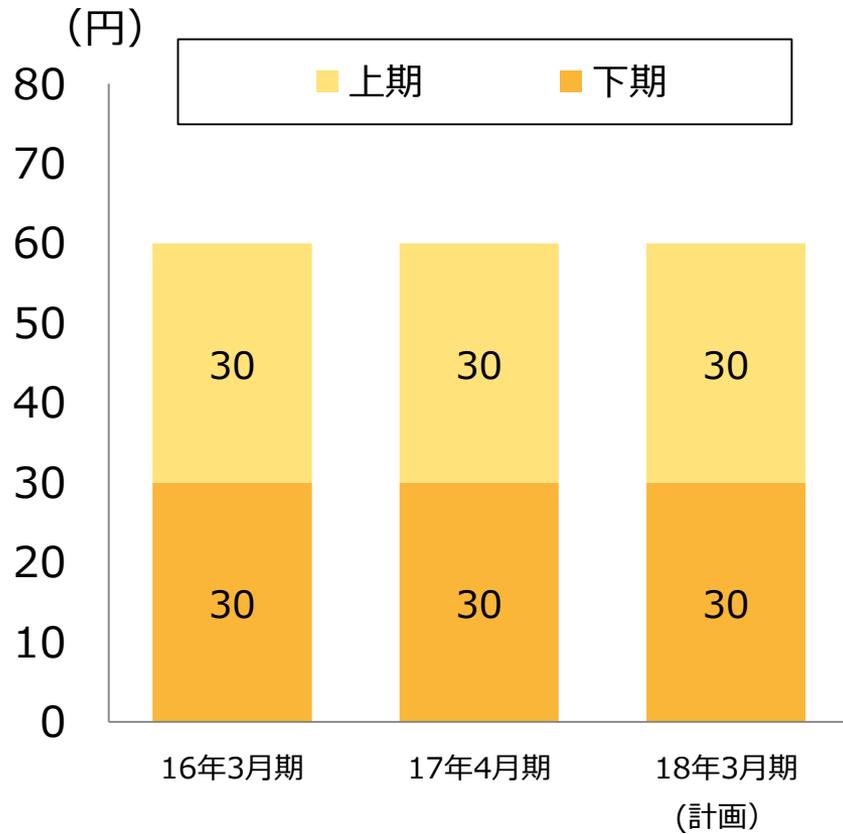


減価償却費

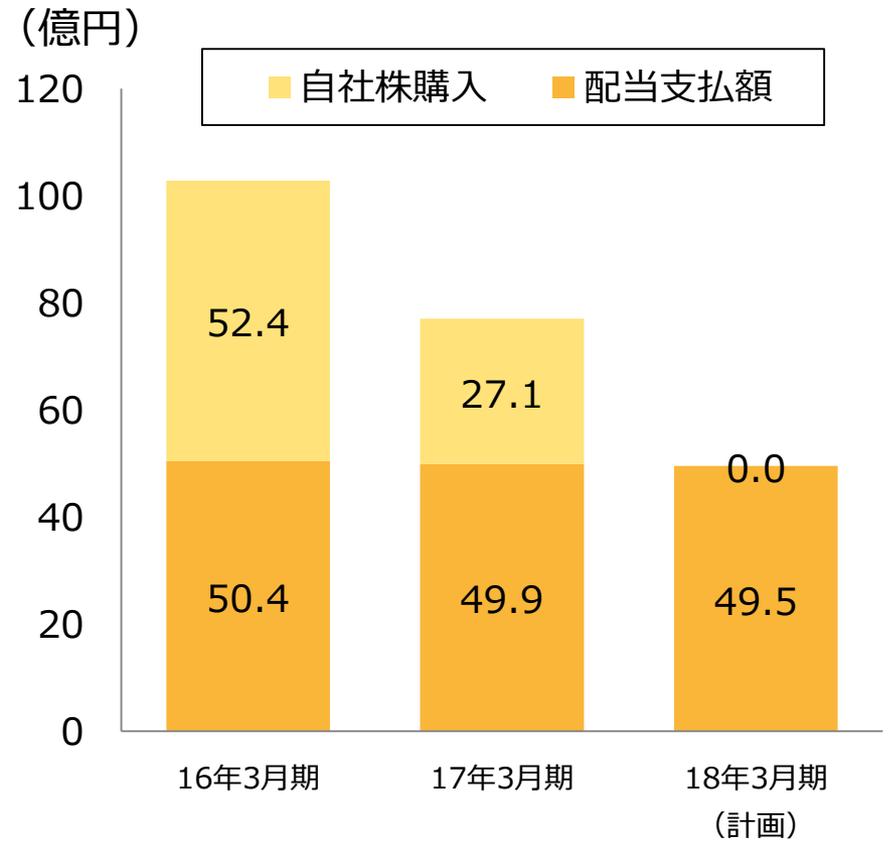
(億円)



一株当たり配当金の推移



配当と自社株買い金額





見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性があります。